

リーディングDXスクール事業【実践事例】

海南市立亀川小学校（和歌山県）

【取組内容】校務DX（標準仕様とクラウドを活用し教員の働き方改革につながる取組）

校務の効率化、Teams内にジャンル別のチャンネルを作成し、チャット機能で情報共有

《ポイント》

- ジャンル別のチャンネルを作成
「日報」「各学年」「DX」「研究授業」等のチャンネルを作成し、各担当が情報を発信。
- 閲覧後は、確認状況がわかるようにスタンプ👍14やコメントなどのリアクションをする。
- 各学年チャンネルでは、日々の実践や悩みを気軽に共有。
- 授業研チャンネルでは、授業中に教員同士でリアルタイムでチャットにコメントや写真をアップして、情報を共有。

《成果》

- 自分のタイミングで伝達・閲覧が可能。
- 印刷・配布の手間なく、手軽に資料を共有。
- 夏場の暑さ指数・健康観察（心の天気）の結果・行事の追加資料や変更点など、情報をすぐに・どこからでも・何度でも共有することができた。
- 教員同士がクラウドでつながり、気軽に相談したり、情報交換したりできるようになったことで、自然と学び合う教職員員の姿が見られるようになった。
- 授業研チャンネルでは、子ども達の学ぶ姿をいろいろな目線でふり返ることができ、参観できなかった先生方も授業の概要を知ることができた。また、授業者にとっても、授業中に気づけなかった子ども達の学ぶ姿を知る授業記録となった。



↑ Teamsの画面

各学年チャンネルの様子→

↓ 授業研チャンネルの様子

